

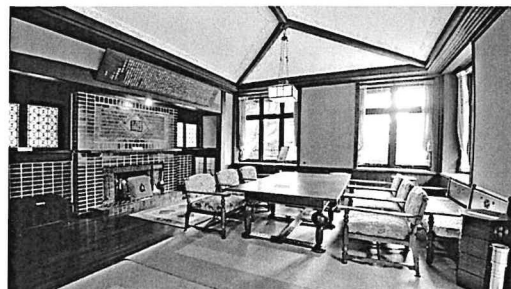


彩の国さいたま

## いきいきシアライフ 京葉会・埼玉会 合同イベント

北区王子「飛鳥山公園・渋沢栄一の郷」探訪のご案内

飛鳥山公園は、東京都北区にある区立公園。徳川吉宗が享保の改革の一環として、飛鳥山を桜(江戸近辺の桜の名所は寛永寺程度しかなかった)の名所にし、行楽の地とした。当時、桜の名所地では禁止されていた「酒宴」や「仮装」が容認されたため、江戸っ子たちは様々な趣向を凝らして花見を楽しんだと伝えられている。明治6年(1873年)に、上野、芝、浅草、深川とともに日本の最初の公園に指定され、現在も「憩いと出会い」の場として、親しまれている。一方、紙の博物館、北区飛鳥山博物館、渋沢史料館の3つの博物館が並び建つ飛鳥山には、近代日本経済の基礎を作った渋沢栄一が住んでいました。1879年(明治9年)に飛鳥山公園南東側の敷地に別荘を構えました。1901年(明治34年)から栄一が死亡した1931年(昭和6年)までは本邸として使用されていました(実際は、子息のいた三田綱町の邸宅との併用)。現存する2棟(晩香廬、青淵文庫)は、ともに「旧渋沢家飛鳥山邸」の名称で国の重要文化財に指定されている。多数の方のご参加をお待ちしております。



(飛鳥山邸内)

1. 開催日 2022年(令和4年)7月14日(木)
2. 集合 JR京浜東北線「王子駅」南口改札口 午後1時(時間厳守)  
※ 団体行動のため、集合時間を守ってください。
3. 行程 ・北区渋沢史料館及び晩香廬(ばんこうろ)・青淵文庫(せいえんぶんこ)の拝観

香廬は、渋沢栄一の喜寿(77歳)を祝して贈られた洋風茶室です。また、青淵文庫は、同じく渋沢栄一の傘寿(80歳)と男爵から子爵への昇格を祝い贈られた建物で、渋沢家の家紋にちなんだステンドグラスが美しい書庫です。ともに国の重要文化財に指定されています。

- ・飛鳥山公園の史跡等の見学。公園出口(王子駅付近)にて16時頃解散。

4. 参加費 500円(上記の拝観料300円含む)
5. 申込方法 ・お申し込みは下記本部あてにおねがいたします。  
参加ご希望の方は、令和4年6月23日(木)までに参加申込書  
又はFAX(03-6240-9382)にて、本部事務局宛にお申込みください。  
※ 協会ホームページ(<https://jarp.or.jp>)からも、お申込みが出来ます。  
※ どなたでも参加出来ます。お友達やお仲間を是非お誘い下さい。  
※ 新入会員を大募集中です。同僚、友人、知人を是非ご紹介下さい。  
※ 「ポイントカード」を忘れずにご持参ください。

6. その他 ◆ハイキングができる服装でご参加下さい。  
◆傷害保険 集合から解散まで付保されます。(日退協負担)  
◆緊急連絡先(世話人担当)  
(京葉会)・大友 彰 090-4843-3308 ・長嶋良一 080-1082-5598  
(埼玉会)・菊池正美 080-1333-0648 ・小林繁治 090-1264-9089  
・白石 崇 080-3010-9566 ・田中英司 090-8059-7519  
・伊藤春江(会計) 090-4379-6608